



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和7年(2025年)
第4回定例会

No.281

令和8年(2026年)
2月1日発行

令和8年10月オープン予定！

そう と もり
桑都の杜の複合施設に関する**条例**
などを**可決**

「夕陽に染まる富士山」
(市営緑町霊園)

今号は、緑町在住の **林 まどか** さんの作品です。

 市営緑町霊園からの眺め

大正10年に開園した市営霊園最古、最大面積の緑町霊園は、本市の代表的な公園である富士森公園に近接した丘陵地にあり、晴れた日には富士山を眺めることができます。

令和7年 第4回 定例会

本会議

委員会

市長提出議案48件を可決

7年第4回定例会は、11月28日に開会し、本会議において議案を審議し、市長提出議案48件を可決しました。

可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した主な議案は次のとおりです。

●全議案の審議結果は4ページへ

付託を省略した主な議案

■認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
■乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正



本会議のようす（今定例会の会期は11月28日～12月18日）

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案42件は、各委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 12月8日

■職員の分限に係る手続及び効果並びに失職の特例に関する条例の一部改正
■職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正
■職員の降給や減給に関する規定を整備

問

職員を嚴重に処分する規定を設ければ不祥事がなくなり、市民の信頼が回復されるわけではないと考える。本改正は今後の本市にとってどのような効果があるのか。

答

懲戒処分の事例が発生した場合、本市には都と同等の減給規定がなく、停職などの過度に重い処分を決定せざるを得ないことも想定される。そのため、国や都との均衡を図る観点で改正するものである。本改正により、社会通念に照らし、公平・公正な処分を決定できる環境整備が行えると考えている。

の過度に重い処分を決定せざるを得ないことも想定される。そのため、国や都との均衡を図る観点で改正するものである。本改正により、社会通念に照らし、公平・公正な処分を決定できる環境整備が行えると考えている。



問

改正案には、職員の勤務実績が良くない場合に降給することができると規定があるが、判断基準が非常に曖昧と感じる。基準が明確でないと職員の不自信が高まり、委縮にもつながるのではないか。

答

分限処分に関する取扱指針に、どのような勤務状況の職員を処分対象とするのかを定めている。処分は、懲戒分限等審査会で審査した結果を経て任命権者が決定するため、恣意的な決定にはならないと考えている。

結果 可決すべきものと決定

■芸術文化会館の指定管理者の指定

■南大沢文化会館の指定管理者の指定

芸術文化会館・南大沢文化会館の指定管理者を指定

問

芸術文化会館と南大沢文化会館の設置目的は似ているように感じるが、市が2つの文化会館に求めることの違いは何か。

答

芸術文化会館は、市内全域を対象とした市民文化の支援拠点として、南大沢文化会館は、主に多摩ニュータウン地域を対象とした地域文化の発信拠点として、それぞれ地域密着性の高い事業を実施することを求めている。

結果 可決すべきものと決定

文教経済委員会

開催日 12月8日

■歴史・郷土ミュージアム条例設定
■図書館条例の一部改正

歴史・郷土ミュージアムを複合施設内に設置

問

八王子中央公園複合施設※内に新たに歴史・郷土ミュージアムを設置するため、条例を設定することである。本条例では、教育委員会の許可がない物品の販売行為等を禁止しているが、規制が厳しいと、商品の販売が難しくなるのではないかと感じる。

答

事業者と調整し、にぎわいの創出や入館者の増加につながる販売行為等については、積極的に許可の手続きを進めていく。

指定管理者の指定に必要な規定を整備

問

同複合施設内に設ける憩いライブラリの管理を、指定管理者が行えるよう、規定を整備することである。民間事業者のノウハウの活用により、期待するサービスは、絵本を積んだ車を公園内で運行するなど、既存の公立図書館では提供できなかったサービスなどである。これにより、さらに訪れたい図書を目標としていきたい。

答

図書館法では、図書館資料の利用は、対価を徴収しない。



8年10月に開館予定の歴史・郷土ミュージアムの完成予想図

※八王子駅南口集いの拠点（愛称：桑都の杜）に整備する八王子中央公園内に設置する施設。施設は図書館（憩いライブラリ）や市民同士の交流スペースなどで構成

ではならないと規定している。指定管理者制度を導入すること、利用料金が発生することはないのか。

答

指定管理者制度を導入しても、法に基づき、図書館資料の利用は無料となる。なお、事業者は指定管理料の中で運営することになっているが、例えば、図書館内の物品の販売等により、一定の収益を上げていくことは考えられる。

結果

可決すべきものと決定

■学童保育所の指定管理者の指定(5件)

各学童保育所の指定管理者を指定

問

指定管理者候補者を選定する際の評価項目の配点について、前回と比較し、120点満点から、今回60点満点まで下げた項目があるが、その理由は。

答

地域との関係性に関する項目は、現管理者と新規参入者を比べた場合に、現管理者が有利になることを踏まえ、検討を行い、今回から配点を下げ、均衡を図った。

問

今回指定する3件の学童保育所は、運営していた一つの事業者が更新しなかった

ため、公募したとのことである。事業者の急な撤退は、子どもたちや保護者への負担にもなることから、複数の学童保育所を一つの事業者が運営することは、リスクがあるのではない。

答

学童保育所の指定管理者は、市域を2つに分けて募集すること、新規参入の促進と、複数施設を管理することによる運営の効率化を目指す考えである。学童保育所の運営を途切れさせず、子どもたちと保護者に安心してもらえるよう、責任を持って取り組んでいきたい。

結果

可決すべきものと決定

厚生委員会

開催日 12月9日

■一般会計補正予算

小児慢性特定疾病の医療費を助成する経費を増額

問

小児慢性特定疾病医療費の助成費用について、増額する要因は。

答

今年度の申請件数は、例年と大きな変化はないが、医療費が高額となる悪性新生物の割合が増加傾向にあることなどが要因と捉えている。

結果 可決すべきものと決定

■財産の減額貸付(2件)

静教保育園・多賀保育園の建物等を減額して貸し付け

問

公私連携型保育所※への移行に伴い、建物等の貸付金額が発生するとのことだが、算出根拠を聞きたい。

答

固定資産税・都市計画税に基づき算出した上で、公益性の高い施設であることから、市の減免基準に準じて貸付金額を算出した。

問

譲渡ではなく貸し付けを行うことについて、事業者はどのように考えているのか。

答

施設の老朽化により、譲渡の場合は改修費等が課題との意見があった。貸し付けにより、大規模修繕が必要なのは市が行うことになるため、問題ないと聞いている。

結果 可決すべきものと決定



8年度から公私連携型保育所へ移行予定の多賀保育園

都市環境委員会

開催日 12月9日

■都市公園条例の一部改正

■八王子中央公園複合施設条例設定

八王子中央公園を整備し同公園内に複合施設を設置

問

八王子中央公園に設置する駐車場の利用料金について、普通自動車は1時間ごと400円という規定のみで、割引や減免等の規定はない。すべての方が利用しやすい場所として、障害者など移動に車が必要な方への配慮が必要と考えるが、今後細かく定めていくのか。

答

障害者への減免のほか、利用料金の一日あたりの上限設定等を考えている。今後、指定管理者との協議などを行った上で決めていきたい。

問

本改正では「同一の自動車を引き続き1週間を超えて駐車させてはならない」と規定している。公園利用者は営業時間後には帰ると考えるため、1週間という規定が適切か疑問に感じるがどうか。

答

条例上は1週間としているが、不正利用が見受けられた場合は、日数にかかわらず、是正を求めていくことを考えている。

問

同複合施設内に設置する自習スペースは、無料と有料のスペースが別々にあるとのことだが、有料スペースのメリットについて聞きたい。

答

有料スペースは個室で静かに利用できる仕様になっているほか、事前に予約することもできる。

結果

可決すべきものと決定

■都市公園の指定管理者の指定(3件)

各都市公園の指定管理者を指定

問

現在の公募条件では現管理者の1者しか応募できない状況と考える。管理する公園数を小分けにするなど、新規の応募者が参入しやすい仕組みが必要ではないか。

答

公園に限らず指定管理者制度の課題と認識している。競争原理がきちんと働くような仕組みを取り入れていかなければならないと考えている。

結果

可決すべきものと決定



*自治体が、土地・建物等の公有設備の無償や安価での貸し付け・譲渡により設置の支援を行うとともに、人員配置などに関与し、適正な運営が行われるよう、自治体と設置・運営主体である民間法人が協定を締結して運営を行う保育所

令和7年(2025年) 第4回定例会 議案の審議結果一覧			会派の賛否 ※1 議長を除く					結果
			自民党	公明党	共産党	立憲民	諸 派	
市長提出議案 48 件		付託委員会	11 人	※1 9 人	5 人	5 人	7 人	
※2 7 年度 補正 予算	一般会計補正予算（第4号）	総・厚	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	厚						
※3 条 例	認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	—						可決
	乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正							
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営の基準に関する条例の一部改正							
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正							
	介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例の一部改正	総						
	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正							
	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正							
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正							
	市長等の給与に関する条例の一部改正	厚						
	職員の給与に関する条例の一部改正							
	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正							
	指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正							
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	文						
	歴史・郷土ミュージアム条例設定	都						
	都市公園条例の一部改正							
	八王子中央公園複合施設条例設定							
	建築物再生可能エネルギー利用促進区域内における説明義務の対象となる建築物の用途及び建築の規模を定める条例設定							
※3 契 約	職員の分限に係る手続及び効果並びに失職の特例に関する条例の一部改正	総	○	○	×	○	○	可決
	職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正	文						可決
	図書館条例の一部改正							
※3 指 定 管 理 者	戸吹地区防災拠点施設（仮称）新築工事請負契約の締結	総	○	○	○	○	○	可決
	財産の減額貸付【2件】（静教・多賀保育園）	厚	○	○	×	○	○	可決
	指定管理者の指定【7件】（市民集会所・市民会館・芸術文化会館・南大沢文化会館・学園都市センター・夢美術館・市民活動支援センター）	厚						可決
	保育園の指定管理者の指定【2件】（石川・長房西保育園）							
	指定管理者の指定【2件】（心身障害者福祉センター・障害者療育センター）	文	○	○	○	○	○	
	学童保育所の指定管理者の指定【3件】（横山・つくみ・美山小学童保育所）							
	体育館の指定管理者の指定（甲の原体育館）	都						
	都市公園の指定管理者の指定【2件】（千人町桑の実公園ほか北西部地区公園191施設、いちよう公園ほか南西部地区公園130施設）							
	市営駐車場の指定管理者の指定							
	学童保育所の指定管理者の指定【2件】（鹿島・みなみ野学童保育所）	文	○	○	×	○	○	可決
※3 そ 他	東京都六市競艇事業組合規約の変更	—	○	○	○	○	○	可決
	損害賠償の和解	文						

○：賛成 ×：反対

<会派名>

自民党：自民党新公会 公明党：八王子市議会公明党
共産党：日本共産党八王子市議会議員団 立憲民：立憲民主・市民の会
諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>

総：総務企画委員会 文：文教経済委員会
厚：厚生委員会 都：都市環境委員会 一：付託せず

市長提出議案



※2 7 年度11月
補正予算



※3 議案の概要
(条例等の内容)

市政の



聞きました

一般質問

11月28日から4日間にわたり27人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

なお、議員ごとの質問の様子は、市議会ホームページで録画配信をご覧ください。



公共施設管理

公共施設再編の取り組み

問

少子高齢化・人口減少が進む中、公共施設の再編はしっかりと取り組まなければならぬと考える。これまでの市の取り組みの成果について聞きたい。

答

戸吹湯ったり館等の廃止のほか、新たなニーズに対応するため、市民部事務所への福祉機能の複合化や、横山事務所の機能一部移転により生み出したスペースの活用など、施設の有効活用を進め、財政負担縮減を図ってきた。

問

公共施設の再編は停滞しているように感じるが、推



旧横山学童保育所に旧横山事務所の機能を一部移転したデジタルフロントスポット長房

答

進するための取り組みは。現在、南大沢・北野駅周辺・八王子駅周辺の3つのエリアにおいて、サービスや機能、施設のあり方など、共通する課題の解消を図るため、全庁的な体制で検討を進めている。また、公共施設等総合管理計画を改定し、再編をより強力に推進できる仕組みへ見直すことを予定している。



問

本市で最も多い公共施設が小・中学校であり、行財政改革として統廃合は避けては通れないと考えるが、なかなか進んでいない。例えば、学校と事務所を併せて統廃合するなど、合理的な公共施設の再編を進めてはどうか。

答

公共施設等総合管理計画では、改修や更新の際、多機能化や複合化による施設再編を必須の検討事項としている。今後は、従来の組織の枠を超えて柔軟に検討できるよう体制を強化するほか、9年度からの後期経営計画において、前期計画の効果検証を踏まえ、さらなる行財政改革の

問

取り組みを進めていく。公共施設の老朽化に伴い、今後、学校を中心とした建て替え等が本格化すると考える。報道等によると建設コストが上昇し、全国的に入札不調により事業が停滞している状況があり、市の財政にも大きな影響があるため、今後どのように取り組むのか。

答

入札制度の見直しや発注時期の平準化など、事業者との意見交換を行い、入札に参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。今後も、公共施設等総合管理計画などに基き、改修や更新を計画的に進めるとともに、人口動態や地域特性を踏まえた施設の再編を推進し、長期的な視点を持って、持続可能な公共サービスの確保に努めていく。

受益者負担の適正化を

行財政改革

問

受益者負担の適正化は、将来世代に負担を残さないために大変重要と考える。近年の物価高などにより、利用料金の算定基礎となる原価と現行料金に差異が生じている公共施設が見受けられるが、

答

今後の見直しをどのように進めていくのか。7年度は行政コストの適正性を確認するため、各事業をゼロベースで見直す総点検を実施し、改定に向けた準備を整えた。原価と現行料金の差が2割を超えている使用料が約85%あり、今後速やかに適正化に向けた料金改定を実施する必要があると考えている。行政サービスを利用する人としらない人の負担の公平性確保に努めていく。

問

公平な受益者負担は、未来の財政を守るために欠かせない。今後も物価上昇が続く可能性があり、現行料金と適正価格の乖離を是正しなくてはならないと考えるが、市の見解は。

答

現状では、全体的に受益者負担より公費負担の割合が大きくなっている。限られた経営資源の効果・効率的な活用は不可欠であり、将来世代に負担を先送りしないためにも、機を逸することなく適正化を進めていく。



一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
- ②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は発言席で一問一答方式



議員席前に設置した発言席で行う一般質問のようす（一問一答方式）



身近な地域で、その地域ならではのアートや文化に触れることができる八王子芸術祭

八王子芸術祭2025の取り組みは

文化芸術

問

7年11月8日から開催している八王子芸術祭2025※は、2年ごとに開催地を巡回する、地域密着型の旅する芸術祭である。地域の魅力を引き出すため、文化芸術をどのように活用しているのか。

答

今回の地域では、歴史的に織物やものづくりが行われている。その特性を踏まえ、織物をモチーフにした展示や、使われなくなった染物工場などの廃工場を活用した作品展示等を行うことで、地域の新たな魅力と価値の創出に取り組んでいる。

問

本芸術祭を開催したことで、10年後の市のビジョンをどのように考えているのか。

答

本芸術祭は、身近なところで気軽に文化芸術に触れる機会を提供し、新たな地域の魅力に気付くきっかけであるとともに、新たな価値をつくり上げる事業と考えている。10年間にわたる事業を実施する中で、文化芸術を身近で楽しみ、心の豊かさや潤いのある生活をもたらすなど、多様な地域特性をいかしたまちづくりにつながるよう、取り組みを進めていく。

学校教育

不登校児童・生徒へのさらなる支援体制は

問

5年度に策定した不登校総合対策「つながるプラン」により、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めているが、その内容は。

答

図書館や学校給食センターなどとの連携を進めるとともに、オンライン教育支援センター「はちっこるーむ」を開設し、多様なニーズに応じた支援を展開している。今後は、相談や指導を受けやす

問

い拠点の確保に加え、学習面や生活面で困難を抱える児童・生徒が安心して学べる環境の整備が必要と認識している。

学校外の居場所として、卒園した幼稚園や保育園等

であれば、子どもや保護者に寄り添った支援ができると考える。幼稚園や保育園等の協力を得ながら、不登校対策をさらに充実してもらえないか。

答

すべての子どもが社会で生き抜く力を身に付けるには、人や社会とつながり、居場所があると実感できる経験が重要と考えている。卒園した幼稚園や保育園等を含め、あらゆる選択肢を活用し居場所の拡大に努め、さらなる不登校対策に取り組んでいく。

校外学習の充実に向けて

問

修学旅行や移動教室を含めた校外学習で得た経験等



不登校対策の一つとして給食を提供し学校外の居場所にもなる給食センター

答

は、その後の人生の可能性を大きく広げるものと考えているが、修学旅行や移動教室で期待される効果は。

目的地において教科等にかかわる学習を効果的に行うとともに、児童・生徒が自然や文化に親しみながら、普段とは異なる環境の中で集団生活を経験することで、より良い人間関係を築く貴重な機会となっている。



問

バス会社の人手不足等により、バスの手配が難しい中、校外学習の機会をどのように確保するのか。

答

バスの利用は、児童・生徒の安全確保という意義もあることから、特定の期間に利用が集中しないよう、学校行事の実施時期を調整し、必要台数を確保している。今後、安全に配慮しながら、効果・効率的な手立てを講じ、校外学習の機会を確保することで、実体験を通して学ぶ教育活動の充実に努めていく。

※5年度に高尾など八王子西部から開始し、隔年開催で10年掛けて中野・大和田や、南大沢、戸吹、中心市街地等の5地域を巡る芸術祭。第2回目の今回は、中野・大和田・小宮・石川で開催

本市議会の



質問内容 (議案外の質問に限ります)

本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間

答弁を含め、一人当たり60分以内です。

福祉

見守り協定事業のさらなる発展は

問

見守り協定事業は、民間事業者が日常業務の中で気付いた異変を市へ連絡することで、高齢者の安否確認等につながる、共創の取り組みであると考えます。事業の開始から15年が経過しており、再構築が必要と考えるが、見直しの方向性は。

答

たいと考えています。見守り協定事業の仕組みをいかすことで、非常時の捜索等にも発展させることができるかと考えるがどうか。

問

本事業は、捜索や災害時の安否確認等、さまざまな取り組みに広がる可能性があると考えています。行方不明者の早期発見を図る、SOSネットワーク※との融合を含め、日常時と非常時を区別しない事業となるよう、取り組みを進めていく。

高齢者の移動支援

今後の取り組みは

問

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、行政が積極的に支援策を講じ、移動が困難な方を支える仕組みづくりが必要と考える。高齢者の移動支援の今後の取り組みは。

答

市民が安全で円滑に移動できるよう、多様な手段を組み合わせた仕組みの構築が重要と認識しており、地域の実情に応じた移動支援に取り組んでいる。今後も、必要とする方がさまざまな移動手段を利用できるよう、市民ニーズを把握し、交通事業者や地域の福祉団体等との連携などに取り組んでいく。

健康・医療

慢性腎臓病の予防に向けて

問

6年度から実施している八王子血管まろうプログラム[※]の取り組みを聞きたい。

答



血管まろうプログラムはこちら⇒

問

慢性腎臓病の発症と重症化を予防するため、前年度の特定健康診査の結果に応じ、腎臓の健康状態を評価する検査を実施し、保健師等の指導を行っている。また、悪化の速度を遅らせるため、専門医の受診にも結び付けている。

答

重症化の予防には、腎機能数値の推移を長期的に観察し、適時適切な働き掛けを行う必要があるのではないかと。今後、客観的なデータや指標により評価・検証を重ね、市民の健康寿命延伸に取り組むとともに、医療費の適正化を図っていく。

子育て支援

子育てナンバーワンのまちを目指して

問

意欲のある市民が、子育て家庭の支援に携わるための研修機会の充実等について、市の考えは。

答

研修の機会を増やすことは、人材の確保と支援の質向上に資する重要な取り組みと認識している。資格取得やスキル向上に向けた取り組みを進め、安定的かつ継続的な子育て支援サービスの提供を検討していく。

問

本市の子育て施策は充実していると考える。この内容を市外にも発信し、子育て世帯の転入を増やすことも目指してもらいたいと思うがどうか。

答

これまでも地域や関係機関と連携し、さまざまな子育て支援に取り組んできた。今後も、さらなる充実を図り、多くの方が本市で子どもを産み育て、暮らしたいと思える子育てナンバーワンのまちに向け、取り組んでいく。



●正副議長と議会運営委員長は、慣例で、一般質問を行わないこととしています



←質問者の発言の
題目はこちら

一 般 質 問 を 行 っ た 議 員 で す (発 言 順)

市 星 村 富 福 古 川 野 松 永 安 里 克 直 純 幸 宏 美 徹 子 徹 太郎	12月3日	九 玉 船 及 岸 鈴 小 鬼 正 木 川 田 木 林 と 彩 翔 賢 功 玲 秀 も 加 平 一 典 央 司	12月2日	浜 森 久 山 綿 石 立 野 重 井 本 林 井 川 正 博 博 貴 夕 宏 寛 太 正 美 士 夏 和 之	12月1日	長 日 川 西 望 金 森 谷 下 村 室 月 子 順 広 奈 真 翔 亜 喜 子 志 緒 美 希 平 彦	11月28日
-------------------------------------------------------	-------	------------------------------------------------------------------	-------	------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------	--------

道路交通

自転車への青切符導入を 見据えた対策を

問 8年4月の自転車への青切符導入で、自転車の車道走行がさらに定着すると考える。自転車は車道の左側走行が原則だが、傷んだ路面や草の生え過ぎで走れない箇所も見られる。転倒事故等が発生しないための道路管理についての考えは。



答

道路パトロールにおいて自転車の走行を踏まえた視点で路肩等を注視して点検していく。また、危険箇所の早期発見のため、市民からのLINE通報等での情報提供により、道路に起因する事故が発生しないよう努めていく。

問

自転車の車道走行の影響で道路が混雑すると、物流等の市内産業や、通勤時間に影響が及ぶことが懸念される。影響の分析や課題抽出など、今のうちから取り組んでもらいたいと思う。

答

全国的な動向を注視しながら、警察や関係団体等との連携や情報共有を行い、ソフト・ハードを含めた必要な対策を講じていく。

交通空白地域解消への 持続可能な取り組みは

問 交通空白地域解消のため、地域の住民主体で運営する地域交通事業は、経済的負担が大きいことが課題との意見がある。運営支援として、財政的な支援の拡充が必要と考えるがどうか。



住民の移動手段の確保を目的にマイクロバス等を運行している地域交通事業

答

財政的な支援の拡充ではなく、まずはこれまでの取り組みを踏まえ、地域の実情に合わせた効果・効率的な運行計画への見直しなどを行うことで、事業の持続可能性を高めていく。

問

都が7年8月に実施した自動運転バス実証実験の事故原因について、公表があった。これを受け、今後市はどのように自動運転技術の社会実装を進めていくのか。

答

国や都からの情報を踏まえ、市民の利便性向上と地域公共交通の持続可能性を両立させるため、市が主体となつて大学等の研究機関と連携を深めながら、安全で信頼性の高い自動運転サービスの実現に向け、取り組んでいく。

住宅対策

要配慮者に向けた 住まいの支援強化は

問

住宅セーフティネット法が改正され、社会的配慮を要する方への賃貸住宅確保の支援強化等が図られている。保証人の不在や経済的事情等により住宅確保が困難な、児童養護施設退所後の若者等を対象にした支援も、市として強化してもらいたいと思う。

答

住宅施策という視点からは、困難を抱える若者も含め、住宅確保が難しいさまざまな事情がある方へ、幅広く対応することが必要と考えて

問

いる。若者の状況把握については、相談支援機関と情報共有や意見交換を重ねていく。生活困窮者の住宅確保の支援については、どのように取り組んでいくのか。

答

生活困窮者自立支援事業において、不動産関係の知識と相談支援の経験を有する支援員を配置し、生活相談の中で、住宅確保の支援を行っている。

問

今回の法改正では、住宅確保だけではなく、高齢者や障害者等の要配慮者が入居後も安心して生活できるよう、見守りなどの居住サポートを行う住宅の設置促進も示されているが、市の考えは。

答

単に住まいを提供するだけではなく、一人ひとりの困りごとに寄り添った居住支援が求められていると考えている。誰もが安心して賃貸住宅に居住できる社会の実現を目指して取り組んでいく。



円滑な住宅確保と、一人ひとりに寄り添った居住支援の推進へ

市議会からのお知らせ

■詳しくは会議録で

本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市政資料室や各市立図書館などで閲覧できます。また、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、7年第4回定例会の本会議の会議録は、2月中旬に完成予定です。

会議録はこちら↓



■会議の様子はホームページで

本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね7日後から録画を配信します。

会議の様子ははこちら↓



■議場カメラ・マイクシステム更新検討会が答申書を提出

インターネット中継に使用する、本会議場のカメラなどの老朽化に対応するため、議員が協議を行いました。

協議を踏まえ、新たな議場カメラ・マイクシステムへの更新や、大型モニターの設置等、意見をまとめ、7年11月14日に議長へ答申を行いました。

請願書・陳情書の提出方法

請願・陳情とは??

市政に関する要望や意見を市議会に提出できる制度です。

議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。

請願書・陳情書は、日本文(A4判・横書き)で、記載例にある事項を記載し、紹介議員(陳情書には不要)が署名したものを議長あてに提出してください。

<記載例>

〇〇〇に関する請願(陳情)

請願(陳情)趣旨

請願(陳情)事項

年 月 日

提出者(代表)

住所

氏名 〇〇〇〇

電話 署名または記名押印

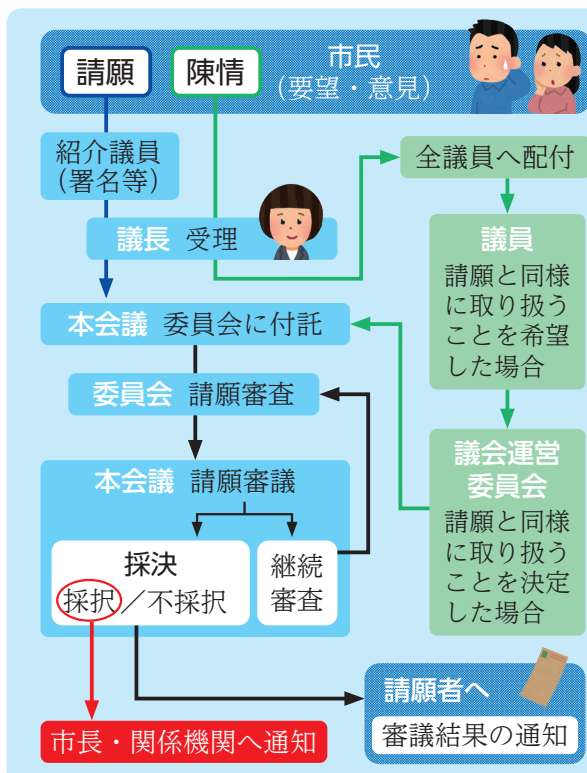
八王子市議会議長 〇〇殿

紹介議員 〇〇〇〇

(陳情書には紹介議員は不要です)

※請願書・陳情書は、いつでも受け付けています

問い合わせ：議事課



【5・6年度の所管事務調査テーマ】
多様なつながりから育む
持続可能な地域づくりの推進

【主な提言内容】

- ★庁内の組織体制の見直しと横断的な庁内連携
- ★デジタル技術の活用や共創など新たな手法を取り入れた取り組みの実践
- ★プラットフォーム※の構築と地域への伴走支援

6年第4回定例会で報告し、市長へ送付した所管事務調査の提言(総務企画委員会分)に対し、回答がありました。

議会からの提言に対する

市長の回答

【回答(要旨)】

地域と行政のさらなるつながりを推進するため、庁内連携体制の強化を行った。

また、デジタル技術の活用による、世代を超えた円滑なコミュニケーションの実現のほか、町会等の地縁型組織や大学・企業等の多様な主体が、対話と共感から新たな解決策を共に創り出せるよう、ゆるやかにつながるための支援を行っている。

今後ともゆるやかなつながりの中で協力し合えるプラットフォームを構築し、定期的に取り組み内容の評価を行い、持続可能な地域づくりを実現していく。

提言と回答の全文はこちら↓



ひびき アンケート実施中

掲載内容について、お気づきの点がございましたら、庶務調査課へお寄せください。

今後の市議会だよりの編集にいかすため、毎号「ひびき」アンケートを実施しています。皆さまのご協力をお願いいたします。



アンケートはこちら↓



スマートフォンで読み込んで、簡単に回答できるよ。



レポート

所管事務調査とは、議会の政策立案機能をより強化するため、常任委員会が主体的にテーマを設定し、政策提案や提言を目指して、調査するものです。



調…所管事務調査の活動
報…市からの報告に対する質問など

厚生委員会

所管事務調査テーマ

青年期・成人期における発達障害に係る就労支援と家族支援について

行政視察 11/4～11/6

堺市、こども若者支援センター「ココエール」(豊橋市)、静岡市

視察の主なポイント

- ・発達障害者支援センター設置による効果
- ・相談支援体制構築による取り組みや効果

その他の活動

11/19 行政視察の振り返り

乳幼児期の教育・保育に関する方針の一部改定(認定こども園施策の方向性)について ほか1件

12/9 今後の調査の方向性



11/5 行政視察
(こども若者支援センター「ココエール」)

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら⇒



都市環境委員会

所管事務調査テーマ

グリーンインフラの推進とその資金調達方法について

行政視察 10/15～10/17

熊本市、熊本県、久山町、北九州市

視察の主なポイント

- ・グリーンインフラ※整備に向けた取り組み
- ・資金調達方法と活用事例

その他の活動

11/19 行政視察の振り返り、今後の調査の方向性

土砂災害防止法に基づく特定開発行為の許可事務等の移譲について ほか2件



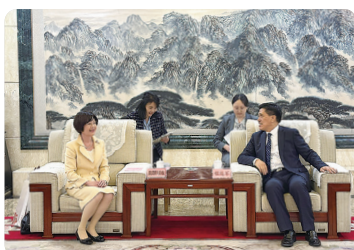
10/17 行政視察
(北九州市)

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら⇒



※自然環境が有する機能を、社会におけるさまざまな課題解決に活用するという考え方や取り組み

泰安市代表团との面会



座談会(意見交換)



岱銀グループへの企業視察





市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。ここでは、常任委員会の行政視察や所管事務調査など、主な活動をお知らせします。

議会活動

総務企画委員会

所管事務調査テーマ

地域の安全・安心の確保に向けた地域防災力のさらなる向上

行政視察 10/14～10/16

西宮市、神戸市、人と防災未来センター(神戸市)、豊橋市

視察の主なポイント

- ・ 自主防災組織や消防団など地域防災力向上への取り組み
- ・ 防災における在住外国人への支援等の状況

その他の活動

11/18 行政視察の振り返り、今後の調査の方向性

一般競争入札の適用範囲拡大試行に係る検証結果及び正式導入について ほか4件

12/8 今後の調査の方向性



10/15 行政視察
(人と防災未来センター)

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら⇒



文教経済委員会

所管事務調査テーマ

歴史と文化、日本遺産を生かした地域振興

行政視察 10/14～10/16

Komatsu 九(小松市)、九谷セラミック・ラボラトリー(小松市)、
護松園(小浜市)、道の駅 若狭おばま(小浜市)、岐阜市

視察の主なポイント

- ・ 地域資源の磨き上げによる文化振興と観光活性化の手法
- ・ 歴史的象徴性をいかした地域ブランディング

その他の活動

11/18 行政視察の振り返り、今後の調査の方向性

12/8 今後の調査の方向性



10/16 行政視察
(岐阜市)

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら⇒



海外友好交流都市視察

都市の歴史・文化、産業の実情を調査し、幅広い市民交流が促進されることを目的に、市議会では海外友好交流都市※を視察し、意見交換や企業視察などを行っています。

中国・泰安市 11/4～11/7

- 泰安市表敬訪問
- 世界遺産「泰山」視察
- 岱銀グループへの企業視察 など

視察報告はこちら⇒



次回の定例会の主な予定

≪令和8年(2026年) 第1回定例会≫

日	月	火	水	木	金	土
会議の予定はこちら↓ 		2 /17 招集告示日	18	19 議会運営	20	21
22	23 天皇誕生日	24 開会日 議場コンサート 議会運営 本会議 予算	25 総務企画 文教経済	26 厚生 都市環境	27	28
3 /1	2	3 議会運営 本会議 (予算代表質疑等)	4 本会議 (委員会審査 報告・採決等)	5 予算 (総括質疑)		7
8	9 ← 予算 (総括質疑) →	10	11 総務企画 文教経済	12	13 厚生 都市環境	14
15	16 厚生 都市環境	17	18	19	20 春分の日	21
22	23 予算 議会運営	24	25	26 本会議 (予算採決等)	27 最終日 本会議 (一般質問)	

- 会議(議会運営を除く)は、10時から開会します
- 定例会の開会中以外にも、会議を開催しています
- 問い合わせ：議事課

◎：委員会
 予算 ⑤：予算審査特別委員会
 ⑥： // 分科会
 (ネット)：市議会ホームページで中継

傍聴者からの声





行政と企業活動の接点を
傍聴で確かめてほしい

渡邊 駿佑さん (北野台) 初めて訪れた議場は、テレビなどでよく見る議論の風景を生で見られたことが印象的でした。一般質問では、米の価格高騰への対策やデジタルツールとしての桑都ペイの活用等、若い世代の暮らしにもかかわる具体的な話が多かったことが興味深かったです。また、住みやすい町を作るには、行政だけではなく企業と地域の連携による経済活性化が重要と強く感じました。八王子の将来がどうなるか気になる方や、地域経済や仕組みづくりに興味のある就活生には最高の学びの場です。リアルな行政と企業活動の接点を、ぜひ一度自身で傍聴して確かめてみてください。

次回の議場コンサート

日時 2月24日(火)の本会議前
午前9時30分～9時50分

受付 市役所3階 議事課(午前9時～)

前回の出演
 足立和音さん
 足立泰子さん

出演者募集中
 定例会の初日に出演できる市内在住・在勤・在学の個人や団体
 問い合わせ：庶務調査課


募集情報はこちら↓



ひびき 表紙写真展

皆さまの力作を展示

本紙の表紙を飾る皆さまからの応募写真。この度、7年中に発行した「ひびき」(277号から280号まで)の表紙写真に採用された作品を含む、応募いただいた力作を展示します。

※日程等を変更する場合があります
 表紙写真展の最新情報はこちら⇒

八王子駅南口
総合事務所

1月28日(水)
～2月8日(日)

午前10時～午後7時
土曜日を除く
日曜日は午後5時まで

会場・日時

市役所1階
市民ロビー

2月16日(月)
～3月13日(金)

午前8時30分
～午後5時
土・日曜日、祝日を除く

年間最優秀作品も決定



採用された4作品の中から、平岡町在住の須崎幸男さんの「春は、もうそこまで!」を年間最優秀作品に決定しました。

次回も 表紙写真を募集

募集内容

市内の行事・風景・まちなみなど〈春・初夏〉をイメージした写真

- ◆写真の縦・横は問いません
- ◆掲載は5月1日発行の282号です
- ◆採用者には議長から感謝状を贈ります

応募要領
はこちら⇒



締切 3月27日(金)

問い合わせ：庶務調査課